

アセビ

万葉名：あしび

岩のほとりに伸びている馬酔木を
手折ろうと思うけれども、
その花を見せたいあなたはいない。

磯のうへに
生おふる馬酔木あしびを
手折らめど
見すべき君が
ありと言はななくに

大來皇女（卷二 一六六）



山地に生える高さ1.5m～3mになるツツジ科の常緑低木。春先に小さな釣り鐘型の花を咲かせ、甘い香りを放つ。全体に毒があり、馬が葉を食べると苦しむので馬酔木（あしび）の名がついた。
（花期：3月～4月）